2025 年度

SGT　活動レポート

中 2 ステンドグラス講座
A 班　第 3 回

5 月 7 日（水）、中学 2 年生によるステンドグラス講座の 3 回目が 4 階技術家庭科室で行われました。今回は、キャンドルボックスに付けるオーナメントとキャンドルボックスの組み立てをしました。まず、第 2 回で切り出したオーナメントのガラスの各ピースにコッパーテープを巻いていきます。粘着材がついた銅箔のテープですが、これをラスキンと呼ばれるプラスチックの刷毛のような道具を使い、ガラスに圧着します。ガラスとガラスが隣り合う箇所からテープを巻き始めていき、最後は 5mm 程重ねて貼ります。同じ要領でキャンドルボックス用の長方形のガラス 5 枚にコッパーテープを巻いて圧着します。この作業を丁寧にやることでガラスとガラスを上手く付けることが出来ます。

次にコッパーテープにペーストを塗ります。ペーストは、牛脂・松脂・にかわで作られており天然素材を使ったものです。ここまでできたらはんだごてを使い、ガラスピースを交点に付けて点付けします。ハンダはガラスにはつかないため、このコッパーテープを巻いたガラスピースの接点にまず半田づけをします。これを点づけといいます。ハンダづけはこれが終わったら隣り合うガラスをそれぞれハンダ付けしていきます。全てのピースを半田で繋ぎ合わせたら完成です。次にこのオーナメントを取り付けるキャンドルボックスを作ります。5 枚の長方形のクリアガラスにコッパーテープを巻き、ラスキンで圧着したあと、オーナメントを制作した時の要領で接点の点づけをしてから全てのピースをハンダ付けしていきます。

第 4 回は、5 月 21 日（水）に実施します。いよいよ最終回です。オーナメントとキャンドルボックスのコッパーテープで圧着した部分に全ハンダしてからオーナメントキャンドルボックスを点付けします。だんだん形が見えてくると作業も楽しくなりますね。

本日の作業工程について説明しています。

ハンダの付けの方法についてまず説明をききます。

各ピースにコッパーテープを巻きます。

ラスキンを使い、圧着します。

インストラクターの方からアドバイスをいただくこともできます。

コッパーテープを圧着したらペーストを塗り、ハンダがよくのるようにします。

隣り合う各ピースの接点をハンダで点付けします。
。

曲線の多いフローラルは、中心の花弁部分と花びら部分の接点を一つずつ点付けします。

ハンダの盛りつけ方についてインストラクターの方からアドバイスをいただいてます。

パッチワークキャットは、曲線と尖っている部分の整形が大変ですが、だんだん形になってくると苦労が報われます。

当日欠席した生徒の作品のコッパーテープの圧着はかわもと先生にお手伝いただきました。

早い生徒は、コッパーテープの全体にハンダを盛りつけました。完成が楽しみですね。